

「彼女のモーツァルトは素晴らしい音楽を持っています、
彼女と一緒に仕事をするのが楽しいです！」

—ピーター・ドノホー

「彼女の演奏は大変繊細で、音色の変化が多い。
特に静かなところで、音楽での言葉にものすごく説得力がある。」

—ロナン・オーラ

マスタークラス

2020.1.12(日)

14:40開場 15:00開始

リサイタル

2020.1.13(月.祝)

14:00開場 14:30開始

L. v. ベートーヴェン:ピアノソナタ第26番 変ホ長調「告別」

R. シューマン:「謝肉祭」

J. ブラームス:「ハンガリー舞曲」(共演 胡志龍)

北海道教育大学岩見沢校 i-hall

(北海道岩見沢市緑が丘2丁目34-1)

主催 北海道教育大学岩見沢校音楽文化専攻

お問い合わせ 080-6640-0920(松永)

■全席自由 ■入場無料

Pei Chun Liao



廖培鈞

パウル・バドゥラ=スコダに「卓越した成熟な」ピアニストと称賛された廖培鈞は国立台北芸術大学を卒業後、奨学金を得てイギリスのバーミンガム・シティ大学音楽学院修士課程パフォーマンスディプロマに進学。「最優秀」で修了。その後フライブルク音楽大学ソリスト養成課程に満点で入学、研鑽を積み、満場一致の満点で最優秀の成績で卒業。

在学中、許麗珍、彭聖錦、陳泰成、Michael Dellinger、Malcolm Wilson、Philip Martin、Vitali Berzonの各氏に師事。これまでにピアニスト傅聰、鄧泰山、陳必先、陳宏寛、李堅、Leon Fleisher、Boris Lvov、Alexander Nasedkin、Bernard Roberts、Peter Donohoe、Robert Levin、Paul Badura-Skoda、Hans Leygraf、Jacques Rouvier、Philippe Entremont、Oxana Yablonskaya、Patsy Toh、Stephen Kovacevich、Peter SerkinとCyprien Katsaris各氏のレッスンを受講。

台湾ショパン青少年コンクール第3位、台北愛樂樂壇新秀、バーミンガム音楽院ピアノ賞、Beryl Chempinベートーヴェン賞、Renna Kellawayピアノ賞、Ludlow Philharmonicコンクール第1位。バーミンガムシンフォニー・ホールピアノソロ賞を受賞し、バーミンガムシンフォニー・ホールでリサイタルを開催。イギリスで著名なクラシック音楽放送局Classic FMの個人インタビューを受け、番組でもリサイタルを中継した。また台湾文化建設委員会の一員としてイタリア第7回マウロ・パオロ・モノポリー国際ピアノコンクール出場。第2位併せてコンチェルト賞、期待の若手音楽家に贈られる特別賞を受賞。2009年「兩廳院樂壇新秀」と台湾音楽雑誌が合同で開催した録音プロジェクトの受賞者となる。

ワシントン・ナショナル交響楽団ホルンの首席Abel Pereira、スペインSevillオーケストラチューバの首席Alvaro Prieto、イギリスハレ管弦楽団のクラリネット奏者Rosa Campos、国際的有名なトランペット奏者Reinhold Friedrich、ピアニストBenjamin Frith、指揮者の鄭立彬、陳永清、江靖波、Lionel Friend、Peter Donohoe、Tamas Gal、Ovidiu Balanの各氏、また国立台湾オーケストラ、バーミンガム音楽院オーケストラ、Bacau Philharmonic Orchestraと共演。

2018年マレーシアにて行われた第4回スタインウェイ青少年コンクールの審査員を務める。アメリカ各地でマスタークラスを行い、2019年にはリサイタル、室内楽演奏会を開催。7月北アイルランド、ロンドンデリー国際ピアノフェスティバルにてマスタークラス、リサイタルを行い、その後はロンドンBeethoven Piano Society of Europeからの依頼を受け、歴史あるリージェントホールでリサイタルを開催。

各国での演奏活動の傍ら、後進の指導にも力を注いでいる。現在台北市立大学音楽科専任助理教授。

世界で活躍するピアニスト。在学中に、台北国家音楽庁樂壇新秀、台北愛樂樂壇新秀と奇美芸術人才養成奨を受賞。また中台交流青年音楽家に選ばれ、台湾各地、北京にてラフマニノフピアノ協奏曲第2番を演奏。卒業後、全額奨学金を得て、アメリカに進学。わずか3年間でアメリカミシガン大学の演奏博士の学位を取得。その後、イーストテネシー州立大学で勤めて、2016年からテネシー大学に就任し、ピアノ科主任のSandra G. Powellと共に現在、専任特約教授。

これまでに陳泰成、陳宏寛、Arthur Greeneの各氏に師事。マウロ・パオロ・モノポリー国際ピアノコンクール、アンドラ国際ピアノコンクール、アメリカミシガン大学コンチェルトコンクール、日本高松国際ピアノコンクール、サンノゼサンノゼ国際ピアノコンクールなど数々のコンクールで受賞。国内外でリサイタルをするほか、指揮者の涂惠民、陳澄雄、鄭立彬、Michael Nowak、Robert Olson、Cornelia Kodkani-Laemmler、Ann Krinitsky、Kenneth Kiesler、Nuvi Mehta、Anthony Quartuccio、Robert Seebacherの各氏、ピアニストの黃楚芳、廖培鈞、鍾曉青、Jerome Lowenthal、Ernest Barretta、ヴァイオリニストの五嶋龍、Brian Lewis、Miroslav Hristov、ヴァイオリストScott Lee、チェリストScott Lee、声楽家のSun-Joo Oh、鄭怡君、林孟君、傅上珍、李文智、また室内楽団マイアミ弦楽四重奏団、Trifecta Trio、The Appalachia Piano Trio、Aloha Piano Quartetなどと共演。伴奏者としても活躍している。Blue Griffin Recordings会社よりピアノアルバム「フォルモサ(台湾の旧称)ファンタジー」、「ラフマニノフ『音の絵』エチュード」、最新アルバム「ゴルトベルク変奏曲」を台湾とアメリカでリリース。2009年に台湾アルバム金曲賞の最優秀演奏者に指名されて、アメリカレコーディングガイドとFanfare雑誌にも高評価を受ける。

演奏活動の傍ら、教育にも力を注いでいる。テネシー州音楽教師協会やKnoxville音楽教師協会、Appalachian音楽教師協会の「年度教師」の賞とテネシー大学の「卓越した教育賞」を受賞。また各国にて国際コンクールの審査員を務めるほか、マスタークラスを行う。彼の生徒たちは数々の国際コンクールで受賞また有名な大学や音楽院に合格するなど、優秀なピアニストを多数輩出している。現在、アメリカテネシー州のKnoxvilleに永住。

胡志龍

